

## 東京藤島会総会・交流会 日暮里会場で77人参加し盛大に

東京藤島会(金内彰会長・渡前地区駅前出身)の総会・交流会が2日(日)、日暮里・ホテルラングウッドで開かれ、ふるさと出身者50人、各地の東京ふるさと会や地元藤島地域から来賓27人の計77人が出席し盛大に開催されました。

規藤島支所長、加藤鉦一市議、上野隆一出羽商工会長、渡部孝子J A庄内たがわ理事らが出席しました。



平成28年度東京藤島会総会・交流会スナップ写真(東京・日暮里 ホテルラングウッド)



## 私の昭和 43

鈴木重雄(89歳・八色木)

産業組合に専務理事を置く

当時は村長が豊菜の

成田信吉氏(八栄島自治振興会会長の曾祖父)。組合長兼務で、専務理事は小中島の石川金之助さん(元藤島町教育委員長石川鍊太郎の父、現当主恵一郎さん)である。

石川家は金之助さんの先代まで庄内藩の御殿医(かかりつけ医師)で素封家である。

子供の頃薬をもらいに行かされていたのを覚えてる。

今でも医者ド(殿)と呼んでいる。

組合の事務室は役場の会議室の片隅にリンゴ箱をひっくり返して机にし、会議のたびに移動して事務をとっていた。

組合で預かったお金は風呂敷に包み、腰に縛り自宅に運ぶ毎日であった。

大柄な体で黒縁の眼鏡をかけた温厚な人であった。

その頃書記として、私の先輩石川勇雄さんである。

同じ集落でもあり彼

の才能を買ったのであろう、彼のことにについては先に述べた。

ここでちよつと触れておくが、金之助さんの末弟恒四郎さんは、鶴岡中学校から第二高等学校東京帝国大学に進み、在学中共産党支持者ということで特高警察に捕まり拷問にかけられる。

そのため官庁に勤めることができず庄内農学校の嘱託となり、庄農、家政校、鶴南の校長を歴任された(佐藤幸夫著「肩を横たえて」より参考)。

恒四郎さんが共産主義者ということで監察を受けており、職にもつげずにいたので、兄金之助が、県産業組合田川支所に入れもらい、在職中庄内の米騒動や農民運動史など多くの著書を出している。

甥っ子の鍊太郎さんが言うには、官僚になるのが嫌いで独文学科を選んだという。

恒四郎さんの兄軍吉さんは帝大法学部を卒業され、官僚になり満州旅順関東庁に勤め若くして亡くなっている。

# 太田榮市さん寄稿 に反響・共鳴

先号「一人はみんなのために みんなは一人のために」(八日会大

事)にしなければ」に反響がありました。

太田さんら数人が、

9月30日のワツパ義民顕彰碑設立7周年記念講演会に行きました。終わってからの立話です。

太田さんによると、

「八日会」会長のテラー佐々木さんからさつそくお礼の電話があったというので、「大きな力にはならないが背中を押し、ちよつと励ますぐらいにはなるのではないか」などと話題になりました。

商店街の活気は、遊佐町・旧余目町など庄内の町の中で、最も失われているのではないかとされています。「買物はスーパー」がすっかり習慣化しています。

商店は必ず買わねばならない気がして入りにくいという人もいます。それでも太田さんに共鳴する気持ちから、新松屋さんからごみ袋株式会社工藤さんから

葉書・切手、ナリサワ靴店からのし袋などの

【寄稿】

「八日会」心をひとつにして頑張ります 靴・手芸のナリサワ

お客様並びに太田榮市さんから地域の思いに感謝申し上げます。

太田さんが書かれておられるように、人口の減少は販売に大打撃です。それに加えて量販店には心労の連続です。

国策としての地方創生とはなんぞや、と思

います。この時に八日会を思

つて下さるお客様に心から御礼申し上げます。紙面を拝借して、お

買ひ物は地元で、八日会からもお願い致します。さて、八日会は創立

は昭和47年、前身は五店会「互」いに助け合

いから異業種が五店集まり設立しました。当時は藤島の個店で

大売り出しはなかったと思

います。年1回の豊年まつりで、気力はあつたが経験が乏しく、静かな町

日用品を買うことは出

来ます。

なんでもスーパーへという習慣を少し改めたいものです。(青山)

そんな時代にテラー

佐々木さん筆頭に有志のお店が発起し、昭和49年8月18日、八代

亜紀シヨを藤島中学校体育館で興行し大成

功、顧客から藤島が変

わつたと言われました。その事が刺激になり、

五店会から八日会に発展しました。八日会

はチャラシ発行481報になり、40年

が経過したことになり

ます。これ一重にお客様あ

つての八日会、さらなる発展をするよう心を

ひとつにして頑張りま

す。

憲法第21条は「集会、

結社及び言論、出版その他一切の表現の自由

は、これを保障する。

2 検閲は、これをしてはならない。通信の秘密は、これを侵してはならない。」として



靴・手芸のナリサワ

「公益及び公の秩序」の魔物は、表現・結社の自由を抑えることにも

「あらためて憲法を学ぶ 青山崇

「最新憲法がよ〜くわかる本」

ます。自民政憲案は、1項と2項の間に、「前項の規定にかかわらず、公益及び公の秩序を害することを目的とした活動を行い、並びにそれを目的として結社をすることは、認められない。」とたくみに新たな項を差し込みました。ここにも、魔物「公益及び公の秩序」が顔を出します。さらに、このような「目的による結社の規制」はきわめて異常とされています。後に書きますが、自民政憲案が天皇中心の伝統、国家の継承を憲法の目的にしていることと合わせ考えると、「公益及び公の秩序」や「憲法の目的」に反すると、「お国」のやることへの批判を一切許さなかつた戦時中に逆戻りして、個人の思想・表現の自由、団体・政党などの結社の自由が抑えられることが心配されます。



## 慎重審議を期待

首相の所信表明演説は、勝ち戦の後なものだからか、随分力が入っていたではありませんか。全てを力で押し通す勢いのようです。

▲その表れが起立しての拍手です。日本の歴史上初めてのことでしよう。演説の中で自分が拍手するのも・これに合せて党員の全員が起立して拍手したのも・です。さすがに議長が注意しましたが。

▲力の政治・独裁の政治はもうここまで来たのか・と思いましたが。戦争法を実行に移すことを意識した行動で、一瞬ヒットラーを思い出した。議論を聞いていても全く聞く耳もたずですから、日本は自分の思つが儘か。

▲戦争法の審議では、自衛隊が外国で殺し殺されることについては否定していましたが、今度は否定しないで、

オドロオドロシイ言い方は良くないナンテ言い始めました。▲TPPは、誰が何と言おうと・アメリカが反対しようが必ず通すんだト。それは自民党としての確たる方針で、強行採決をすることまで決まっている・と思わせる発言があり、さすがにそいつは委員からは外されましたが。

▲そんな委員会の委員たちは、TPPの中身を承知しているんだろうか。だって先の国会には、(のり弁当)とヤユされたものしか出てなかつたでしょう。▲こんなモノを強行採決することは、許されません。ましてや、TPPに反対を公約して当選してきたくせに。このウソコギドモ、国民が良く判るように真面目にヤレッテンだ。

▲与党が大勢の委員会、なにも急ぐことないでしょうよ。(石川)



出羽商工会の「子育て応援20%プレミアム付商品券」は、販売2日目の4日10時30分で1500セットが完売しました。